



発行所
株式会社 新聞情報社
www.shimbun-joho.co.jp
東京本社
東京都中央区銀座 6-7-16
電話 03(3573)7628
FAX 03(3574)7901

すくある版

月2回発行

業務提携の目的と今後の展開

プレッショ（東京都港区、大谷社長）と川上機工（群馬県高崎市、吉池社長）は、販店にとってもっと頼れる存在に力体制を一段と深化させた、業 今後は共同の製品開発や部材業務提携を結んだ。その狙いは、の共通化なども視野に入れてお

新聞販売店の要求に丁寧に応える

メンテナンスサービスの向上を実現

——本日は、プレッショと川上機工の業務提携について、両社の社長にお話をうかがいます。まず、これまでの協力関係、今回の業務提携の背景について教えてください。

お客様に対するメンテナンスサービスの向上を本業務提携によって実現することが、最も大きな目

お互いの強みを活かして

——具体的には、どの地域でどのような協力が進んでいるのでしょうか？

吉池 地域によって、弊社だけでは十分なサービスが行き届かないことがありますが、北海道や青森、岩手などでは交通事情や距離の問題もあり、川上機工様と協力して効率的なメンテナンス体制を構築しています。

大谷 事前にお客様への説明及び引き継ぎを丁寧に行った上で、メンテナンスサービスを提供しています。現場で困ることがあれば、互いの工場をエキスパートにすぐ連絡できる体制を整えており、現場でのフォローも万全です。

——現場の営業やメンテナンス担当者、販売するという形で、

大谷 地域によって、弊社だけでは十分なサービスが行き届かないことがありますが、北海道や青森、岩手などでは交通事情や距離の問題もあり、川上機工様と協力して効率的なメンテナンス体制を構築しています。

大谷 事前にお客様への説明及び引き継ぎを丁寧に行った上で、メンテナンスサービスを提供しています。現場で困ることがあれば、互いの工場をエキスパートにすぐ連絡できる体制を整えており、現場でのフォローも万全です。

大谷 お客様が必要とされる製品や機能に、よ映させる物作りの姿勢が素晴らしいです。営業担当者も自信を持って販売しているのが印象的です。常にお客様目線で考え、改善を続けている点高く評価しています。

吉池 プレッショ様は、現場の声を製品に反映させる物作りの姿勢が素晴らしいです。営業担当者も自信を持って販売しているのが印象的です。常にお客様目線で考え、改善を続けている点高く評価しています。

プレッショ 大谷貴志社長

川上機工 吉池睦社長

対談



大谷社長



吉池社長

吉池 両社は2009年より業務提携を開始しており、その延長線上として、昨年は北海道と福井で協力体制を開始し、今年に入り青森と富山での協業を開始しました。私たちの業務提携は、両社にとってより業務の効率化を図ることも目的の一つではありますが、それぞれ人員の手薄な地域を補完し合うことも目的としていきます。なにより、

大谷 地域によって、弊社だけでは十分なサービスが行き届かないことがありますが、北海道や青森、岩手などでは交通事情や距離の問題もあり、川上機工様と協力して効率的なメンテナンス体制を構築しています。

大谷 事前にお客様への説明及び引き継ぎを丁寧に行った上で、メンテナンスサービスを提供しています。現場で困ることがあれば、互いの工場をエキスパートにすぐ連絡できる体制を整えており、現場でのフォローも万全です。

大谷 お客様が必要とされる製品や機能に、よ映させる物作りの姿勢が素晴らしいです。営業担当者も自信を持って販売しているのが印象的です。常にお客様目線で考え、改善を続けている点高く評価しています。

吉池 プレッショ様は、現場の声を製品に反映させる物作りの姿勢が素晴らしいです。営業担当者も自信を持って販売しているのが印象的です。常にお客様目線で考え、改善を続けている点高く評価しています。

2面に続く